

## 令和5年度 第2回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時：令和5年8月29日（火）

15時30分～17時

場所：摂津市役所 601 会議室

出席委員： 8名

欠席委員： 2名

事務局： 5名

### 1. 委嘱状交付

- ・各委員へ協議会委員の委嘱状を交付。

### 2. 教育長あいさつ

### 3. 協議会委員、教育委員会事務局職員の紹介

### 4. 会長及び副会長の選出

- ・任命・委嘱期間は令和5年8月1日から令和7年7月31日まで。
- ・会長と副会長を互選により選出。

### 5. 会長挨拶

### 6. 案件：

- (1) 摂津市民図書館等協議会について
- (2) 市民図書館等モニタリング評価方法について
- (3) 今後の図書館運営について
- (4) その他

#### (1) 摂津市民図書館等協議会について

(事務局) 摂津市民図書館等協議会条例に基づき、図書館等協議会について説明。

(委員) モニタリングシートは会議の場に持参するのか。

(事務局) 事前に生涯学習課に返信用封筒で送付していただく。

#### (2) 市民図書館等モニタリング評価方法について

(事務局) モニタリング評価方法について説明。

- (委員) 任期外であるがモニタリングを4月分から実施するのか。
- (事務局) 委員任期と委嘱のタイミングでずれが生じてしまう。送付した資料を参照し評価をしていただきたい。
- (委員) であれば「評価せず」の答えがある方が良いのではないか。  
常に図書館に足を運ぶのが難しいので、送られてくる現行の資料では圧倒的に情報が足りない。  
絶対評価であれば評価しやすい。  
モニタリングチェックシートの内容を評価しやすい形式に変えていただきたい。  
図書館が2館あるのに評価シートが1枚では正確な評価ができないと思う。  
市民図書館と鳥飼図書センターは性質が違うと思うので、別々で評価をすべき。  
二つに分けて評価し平均を出し最終評価とするのはどうか。  
片方の図書館はすごくサービスがいい感じで片方はちょっとまずい時もあり得るかもしれない。そういった場合には、分けた方が評価しやすい。  
個別の館にお伝えしたいということがあったら、評価と同時に、自由記述のところで少し補足で説明を加えてもいい。  
他施設を見ないとわからないので、「他ではしていないこういう取り組みをしています」というPRをしてもらえれば、そちらを評価に加味できる。  
(評価用資料について)運営側が特記事項など気づいた点をもっと記載しないと評価できない。
- (事務局) ご意見を集約し、今年度中に新しい評価シート及び評価方法を作成する。

### (3) 今後の図書館運営について

- (委員) アンケート等でも声があがっているが、トイレの改修を実施すべきだ。  
今のものでは女性や子どもが非常に使用しづらい。  
図書館協議会から強く声が上がっていると伝えてもらいたい。  
図書館の運営は民間に委託しているが、職員はすべて民間会社の人なのか。
- (事務局) 図書館に従事している職員はすべて民間業者の社員である。

### (4) その他 (令和4年度図書館年報について)

- (事務局) 令和4年度実施の新規事業は、フリーWi-Fiの設置、電子図書館の運用開始、インスタグラムの運用を開始した。また貸出利用人数、冊数が増

加し、逆に予約数が減少していることは、コロナ禍が落ち着き在宅で予約し本を借りるためだけに来館していた利用者が館内に滞在し本を選んで借りるようになったと分析している。

また今後取り組む事業について、図書館に来ている子どもたちは本をよく読んでいて、文章を書きたい方がおられるので、そういった子どもたちの書きたい意欲を図書館で盛り上げていく企画を考えている。

地域の祭りなどに参加して思ったのが、活字を読む人と読まない人との温度差がものすごくあるということ。図書館の活動のPRはもっと視覚的に訴えるものが必要だと思う。

高知県や和歌山県が図書館利用を伸ばしているが、すべてイベントきっかけと聞く。施設設備面で難しいかもしれないが、音楽会を行う、そこに大人が来る、さらに子どもがついてくるという効果を狙えるのでは。

(事務局) 図書館の設備で難しいところは隣の安威川公民館の大ホールを借りて実施したイベントもある。

(委員) 今年度から実施のすくすくタイムについては、小さい子どもが「図書館は静かにしなさい」と叱られる場所だから行きたくない、そのまま小学校にあがって図書館に来ないということになってしまうのかと思っているので、いい取り組みだと思う。

(事務局) 図書館は静かであるべきと思われている方もいらっしゃるのですが、その方々にはちょっとずつ理解を深めていって、ゆくゆくは赤ちゃんが泣いたり赤ちゃんが笑って本を読んでいる環境はとていいものとわかってもらえる環境を作っていきたい。

(委員) すくすくタイムがあることで、それぞれの親子の出会いの場になることも期待できる。

すくすくタイムの反響は。

(事務局) すくすくタイムを目指して来館している親子連れかどうかの判断は難しい。

(委員) 月に1回では貸出のサイクルを考えても不十分だと思う。

(事務局) 他の利用者の反応も見ながら、段階を踏んで増やすことを考えている。市民図書館の構造上1階が半分児童で半分大人向けになっているのでどうしても声が響くことが気になるかもしれない。

(委員) 鳥飼図書センターであれば、1階がほとんど子どもの本のフロアなのでゆっくり過ごすことができるのだが。

楽しい雰囲気でも過ごしてもらい、それが発信され、たくさんの方に伝わり図書館を使っていただく機会を増やしてもらえればいいと思う。